



SENKO REPORT

第99期 中間報告書

平成27年4月1日～平成27年9月30日

1P 株主の皆さまへ	7P 連結財務諸表
4P 部門別の概況	9P 会社概要
5P トピックス	10P 株式情報



国内外から信頼される、流通情報企業へ。

2016年 創業100周年

 **センコー株式会社**

証券コード 9069

中期経営4ヵ年計画も折り返しを過ぎ、 さらなる成長に向けて邁進しています



代表取締役社長
福田 泰久

免責事項

本報告書で記述されている将来についての事項などは、予測しない経済状況の変化など様々な要因の影響を受けるため、その結果について当社グループが保証するものではありません。

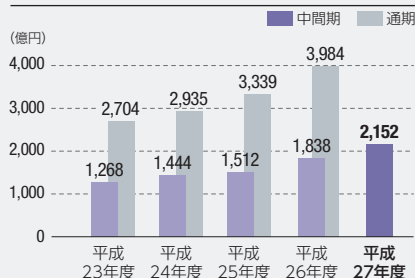
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
ここに第99期中間期における営業の概況と決算につきましてご報告申し上げます。

販売拡大とM&Aで増収増益 国内外で事業拡大に取り組みました

当第2四半期連結累計期間(中間期)の日本経済は、政府や日銀による経済・金融政策の効果などにより企業業績や雇用情勢に改善がみられるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、中国をはじめとする海外経済の減速や個人消費の弱さなどがあり、予断を許さない状況が続きました。

物流業界におきましては、燃料価格は低下しているものの、個人消費の弱含みから荷動きが停滞しているほか、ドライバー・車両不足の課題や事業者間の競争激化など、厳しい経営環境が続いております。

連結営業収益



このような環境の中、当社グループは平成25年度から4年間の中期経営計画を策定し、コーポレートスローガン「Moving Global」に添えた「物流を超える」「世界を動かす」「ビジネスを変える」を目標として、物流事業および商流事業の業容を拡大するとともに、お客さまに一層信頼される高品質でコストパフォーマンスの高いサービスの提供に取り組んでおります。

当中間期は、国内におきましては、物流センター事業の強化として、4月の狭山PDセンター（埼玉県）にはじまり、5月の成田ファッションロジスティクスセンターI（千葉県）、9月の大門物流センター危険物2号倉庫（滋賀県）を稼働させました。また、10月には仙台港PDセンター（宮城県）を稼働させております。

海外におきましては、タイ最大の貿易港であるレムチャバン港にレムチャバン物流センター（チョンブリー県）を新設し、9月から本格稼働させました。また、アセアン地域でのさらなる事業拡大のため、ベトナムのハノイに駐在員事務所を6月に開設いたしました。

なお、財務の健全性確保の取り組みとして、センコー・ア

セットマネジメント(株)が運用する不動産投資法人（私募リート）に、保有する物流センター4物件を9月に譲渡いたしました。（3ページ参照）

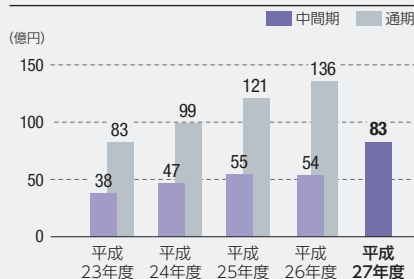
当中間期の連結営業収益は、積極的な拡販を行ったことや昨年10月に(株)ランテックを連結子会社にしたことなどにより、2,152億円（対前年同期比17.1%増）となりました。

利益面におきましては、物流事業における外注費や商事・貿易事業における仕入れ価格の上昇などのコストアップがありました。M&A、拡販による増収効果や料金改定、さらには燃料価格低下の効果もあり、連結営業利益は83億円（同53.7%増）、連結経常利益は79億円（同54.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は43億円（同40.9%増）となりました。

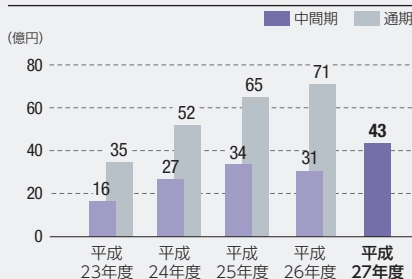
収益力、事業競争力、生産体制の強化にグループを挙げて取り組んでまいります

今後も日本経済は、緩やかに回復すると考えられますが、海外経済の減速や個人消費の回復の遅れなど、先行きに対する不透明感が強まっております。

連結営業利益

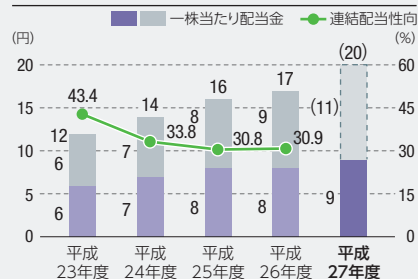


連結四半期(当期)純利益



※平成27年度は「親会社株主に帰属する四半期純利益」

一株当たり配当金／連結配当性向



物流業界におきましても、貨物輸送量の伸び悩みや、ドライバー不足問題、競争の激化など引き続き厳しい環境が続くと思われまます。このような環境の中、当社グループでは引き続き「収益力の強化」「事業競争力の強化」「生産体制の強化」などに取り組んでまいります。

創業100周年の記念配当を加え 配当金は年間20円とする予定です

当社は安定配当に加え、業績連動を考慮した配当を実施

することを利益配分に関する基本方針としております。

当期の配当金に関しましては、「創立70周年および創業100周年記念」として、1株当たり2円の記念配当を実施いたします。これにより、普通配当・記念配当を合わせた年間配当予想は、1株当たり20円(中間9円、期末11円)となります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

保有する物流センターを私募リートへ譲渡

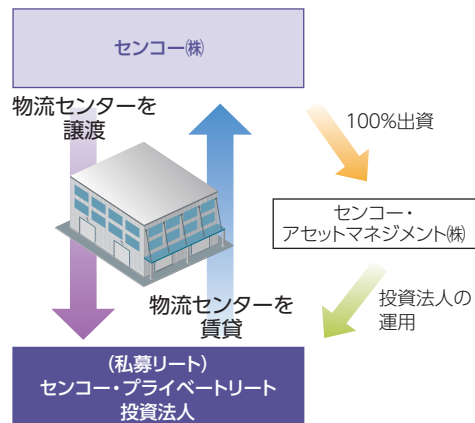
平成27年9月、当社は100%出資子会社のセンコー・アセットマネジメント(株)が運用するセンコー・プライベートリート投資法人(私募リート)に物流センターを譲渡すると同時に当該センターの賃借を開始しました。

リート(不動産投資信託)とは、投資家から調達した資金で不動産を購入し、これを賃借することで得た利益を投資家に分配するものです。

当社は物流センターの譲渡により資産をオフバランス化し、財務の健全性を確保できます。また、物件の売却資金をさらなる設備投資などに活用し、物流センター事業の拡大・成長につなげていきます。

自己資本比率
(ご参考)

平成27年3月末	平成27年9月末	増減
28.4%	31.5%	3.1pt



私募リートに譲渡した物流センター



札幌PDセンター2号倉庫



野田第1PDセンター



浦和PDセンター



西神戸PDセンター

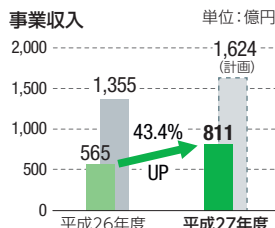
部門別の概況

Outline of Business Segment



流通ロジスティクス事業

事業別構成比率 **38%**



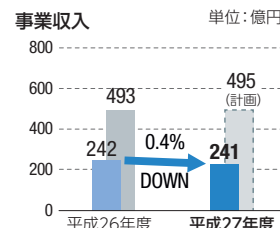
量販店や百貨店、専門店など流通業界のほか、ファッション、食品、電気・機械業界向けの物流事業です。

当中間期の事業収入は、昨年受託したコカ・コーラウエスト(株)さまをはじめとする積極的な販売拡大、(株)ランテック子会社化の効果などもあり、811億円(対前年同期比43.4%増)となりました。



ケミカル物流事業

事業別構成比率 **11%**



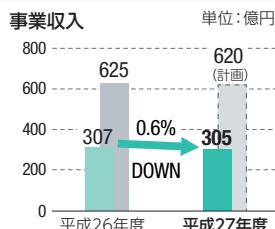
樹脂原料や樹脂成型品・加工品のほか、潤滑油やゴム製品などケミカル製品の物流事業です。

当中間期の事業収入は、積極的な販売拡大による増収効果があったものの、既存物量の減少による減収影響があり、241億円(対前年同期比0.4%減)となりました。



住宅物流事業

事業別構成比率 **14%**



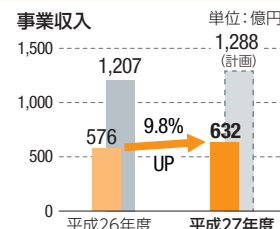
住宅メーカー製品の工場から建設現場への輸送や、住宅資材メーカーの製品輸送などの物流事業です。

当中間期の事業収入は、住宅資材メーカーを中心に販売拡大効果があったものの、住宅メーカーなどの物量減少からの回復が鈍く、305億円(対前年同期比0.6%減)となりました。



商事・貿易事業

事業別構成比率 **29%**



石油カードを利用した燃料の販売、物流機器・資材販売のほか、日用品、包装資材、酒類、家庭紙などの販売や貿易事業を行っています。

当中間期の事業収入は、積極的な拡販や、消費増税による販売の落ち込みの回復などもあり、632億円(対前年同期比9.8%増)となりました。

その他物流事業

事業別構成比率 **7%**

流通ロジスティクス事業、住宅物流事業、ケミカル物流事業以外の物流サービス事業です。

当中間期の事業収入は、142億円(対前年同期比13.1%増)となりました。

その他事業

事業別構成比率 **1%**

情報処理受託、自動車修理、保険代理業などの事業から構成される部門で、物流事業、商事・貿易事業に含まれない事業です。

当中間期の事業収入は21億円(対前年同期比4.4%減)となりました。

先進の物流センターでSCM全般をサポート

保管、配送、検品、流通加工、情報機能などの複合機能を備え、SCM(サプライチェーン・マネジメント)全般をサポートする先進の物流センター(PDセンター)を開設しています。

平成27年度中に稼働した主な物流センター

狭山PDセンター



所在地：埼玉県狭山市
延床面積：21,500m²
稼働年月：平成27年4月

圏央道のインターチェンジに至近で、関西・中部・東北方面に向けた「都心を経由しない物流」の結節点として好立地。幅13mの大きな庇を備える全天候型の物流センター。

成田ファッションロジスティクスセンターI



所在地：千葉県富里市
延床面積：36,000m²
稼働年月：平成27年5月

東京納品代行(株)が運営する大型のファッション物流センター。成田空港から輸入されたインポートブランド商品を中心に、アパレル商品の検品・検針、洗濯タグの取り付けなどに対応。

仙台港PDセンター



所在地：宮城県仙台市
延床面積：34,200m²
稼働年月：平成27年10月

国際貿易港である仙台港に立地。仙台港インターチェンジに至近で東北をカバーする広域ネットワークの中心的拠点。2階は津波の発生時、緊急避難施設として約1,300人が収容できます。

レムチャバン物流センター



所在地：タイ チョンブリ県
延床面積：21,000m²
稼働年月：平成27年9月

アセアン地域の物流強化のため、タイ最大の貿易港であるレムチャバン港の近隣に開設。輸出入貨物の保管を中心に物流サービスを提供。

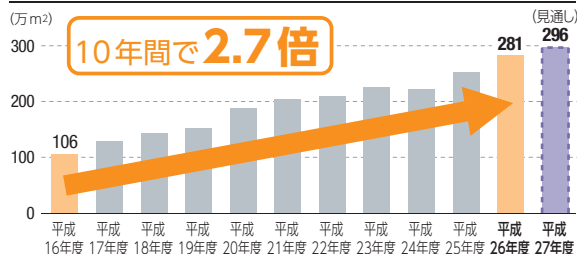


物流センターの新設を進め、倉庫面積を拡大させています

当社は物流センター事業の強化に取り組んでいます。平成16年度末に106万m²だった倉庫面積は、平成26年度末には281万m²と10年間で2.7倍に増加しました。

また、平成28年度末の目標を300万m²としており、現在計画中の物流センターを含めると、平成27年度末にはほぼ達成できる見込みです。

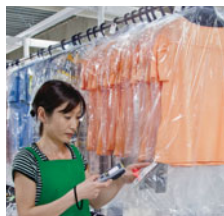
倉庫面積の推移



様々な業界向けに物流センターの機能を強化しています

■ファッション業界向け

衣料品や靴、鞆、アクセサリーなどの商品を取り扱っています。また、保管だけでなく、検針やプレス加工、不良品修理、洗濯タグ取り付け、値札付けまで行っています。近年はネット通販向けの物流も行っています。



■食品業界向け

冷凍・冷蔵食品などの商品を取り扱っています。厳密に管理された冷凍・冷蔵庫内で商品の品質を保ち、高い安全性が求められる食品物流に対応しています。また、独自の冷凍車を使用し、輸送品質を高めています。



■医療・医薬業界向け

医療・医薬業界向け物流センターでは、防虫・防塵設備、免震設備などBCP(事業継続計画)への対応、薬機法(旧・薬事法)の許認可取得など、高い物流品質でお客さまのニーズに応えています。



■住宅業界向け

様々なメーカーで生産された住宅資材などを当社の住宅資材センターに集約し、邸別に仕分けて各施工現場へ配送します。集約による物流効率化だけでなく、資材の加工・組立のサービスなども行います。



連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

四半期連結貸借対照表

単位:百万円

	前連結 会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,685	27,361
受取手形及び営業未収入金	56,602	56,396
商品及び製品	6,480	7,031
販売用不動産	3	3
仕掛品	191	216
原材料及び貯蔵品	437	363
その他	8,890	9,065
貸倒引当金	△42	△18
流動資産合計	98,248	100,419
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	68,435	58,171
土地	66,229	57,717
その他(純額)	15,146	15,698
有形固定資産合計	149,811	131,587
無形固定資産		
のれん	4,311	4,174
その他	3,395	3,737
無形固定資産合計	7,706	7,912
投資その他の資産		
差入保証金	10,390	10,497
繰延税金資産	2,734	2,306
その他	17,159	21,201
貸倒引当金	△741	△739
投資その他の資産合計	29,543	33,266
固定資産合計	187,061	172,766
繰延資産		
開業費	—	121
繰延資産合計	—	121
資産合計	285,309	273,306

百万円未満は切り捨てて表示しています。

	前連結 会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	37,989	37,867
1年内償還予定の社債	20	10
短期借入金	29,235	18,867
未払法人税等	3,415	2,166
賞与引当金	3,905	4,269
役員賞与引当金	189	101
その他	17,798	16,171
流動負債合計	92,554	79,453
固定負債		
社債	12,000	12,000
転換社債型新株予約権付社債	6,868	5,040
長期借入金	61,971	61,768
役員退職慰労引当金	369	359
退職給付に係る負債	9,381	9,125
特別修繕引当金	33	32
資産除去債務	575	514
その他	8,811	7,290
固定負債合計	100,011	96,131
負債合計	192,565	175,585
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,098	24,011
資本剰余金	21,914	22,829
利益剰余金	36,676	39,927
自己株式	△1,183	△1,063
株主資本合計	80,506	85,704
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,819	1,548
繰延ヘッジ損益	△4	△30
為替換算調整勘定	543	580
退職給付に係る調整累計額	△1,839	△1,726
その他の包括利益累計額合計	519	372
新株予約権	288	359
非支配株主持分	11,428	11,285
純資産合計	92,743	97,721
負債純資産合計	285,309	273,306

四半期連結損益計算書

単位:百万円

	前第2四半期 連結累計期間 (平成26年4月1日～ 平成26年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (平成27年4月1日～ 平成27年9月30日)
営業収益	183,798	215,232
営業原価	165,023	191,875
営業総利益	18,774	23,356
販売費及び一般管理費	13,397	15,090
営業利益	5,376	8,266
営業外収益		
受取利息	89	102
受取配当金	72	71
その他	335	352
営業外収益合計	497	526
営業外費用		
支払利息	588	585
その他	153	300
営業外費用合計	742	885
経常利益	5,131	7,906
特別利益		
固定資産売却益	—	257
特別利益合計	—	257
特別損失		
リース解約損	—	115
固定資産売却損	20	54
固定資産除却損	—	52
解約違約金	—	35
関係会社株式売却損	—	32
100周年記念事業費	—	31
訴訟和解金	98	—
事業撤退損	41	—
特別損失合計	159	322
税金等調整前四半期純利益	4,972	7,841
法人税、住民税及び事業税	1,193	1,959
法人税等調整額	697	663
法人税等合計	1,890	2,623
四半期純利益	3,081	5,217
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	893
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,069	4,324

百万円未満は切り捨てて表示しています。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	前第2四半期 連結累計期間 (平成26年4月1日～ 平成26年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (平成27年4月1日～ 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,364	6,145
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,496	7,780
財務活動によるキャッシュ・フロー	666	△ 12,782
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 54	21
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	480	1,165
現金及び現金同等物の期首残高	17,667	25,476
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	225	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,373	26,641

百万円未満は切り捨てて表示しています。

四半期連結包括利益計算書

単位:百万円

	前第2四半期 連結累計期間 (平成26年4月1日～ 平成26年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (平成27年4月1日～ 平成27年9月30日)
四半期純利益	3,081	5,217
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	420	△ 230
繰延ヘッジ損益	108	△ 30
為替換算調整勘定	△ 145	50
退職給付に係る調整額	178	116
その他の包括利益合計	561	△ 93
四半期包括利益	3,642	5,124
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,626	4,278
非支配株主に係る四半期包括利益	16	845

百万円未満は切り捨てて表示しています。

会社概要

(平成27年9月30日現在)

商号 センコー株式会社
 資本金 24,011,687,826円
 創業 大正5年9月
 設立 昭和21年7月
 本社 〒531-6115
 大阪市北区大淀中一丁目1番30号
 電話(06)6440-5155(代表)

事業所数 454カ所
 従業員数 12,921名
 車両台数 4,593台
 所有船舶数 7隻
 倉庫面積 285.9万m²

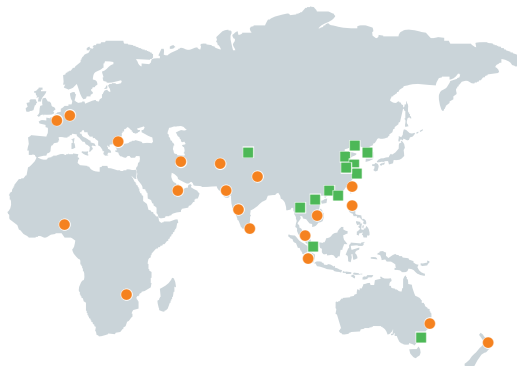
※グループ合計

拠点

■ 本社
 ● 営業本部 部・支店



■ 現地法人・海外事務所
 ● 海外代理店



主要な事業所

(平成27年9月30日現在)

■ 営業本部

住宅物流営業本部
 ケミカル物流営業本部
 ロジスティクス営業本部
 ファッション物流営業本部

■ 部支店

札幌主管支店、札幌南支店、東北主管支店、
 仙台北支店、福島支店、関東主管支店、柏支店、
 北関東主管支店、茨城住宅支店、埼玉主管支店、
 埼玉北支店、埼玉南支店、東京主管支店、
 東東京支店、神奈川支店、厚木支店、千葉支店、
 静岡支店、名古屋主管支店、小牧支店、三重支店、
 北陸支店、京滋主管支店、京滋東支店、
 大阪主管支店、北大阪支店、阪神支店、
 南大阪支店、岡山主管支店、広島支店、
 九州主管支店、北九州支店、南九州支店、
 延岡支店、国際物流事業本部、海運部

■ 業務センター

関東業務センター、埼玉業務センター、
 南関東業務センター、中部業務センター、
 京滋業務センター、関西業務センター、
 岡山業務センター、九州業務センター、
 延岡業務センター

役員

(平成27年9月30日現在)

代表取締役社長	福田 泰久
代表取締役	藤森 正三
副社長執行役員	手塚 武與
取締役	田中 健悟
専務執行役員	山中 一裕
取締役	米司 博
常務執行役員	川瀬 由洋
取締役	嘉永 良樹
常務執行役員	谷口 玲
取締役	佐々木信郎
取締役	飴野 仁子
取締役	尾島 史賢
常勤監査役	澤田 孝志
常勤監査役	松原 圭治
常勤監査役	石岡 孝伸
常勤監査役	吉本恵一郎
専務執行役員	村上 和正
専務執行役員	大迫 友行
常務執行役員	白木 健一
執行役員	多田 政美
執行役員	是沢 可人
執行役員	室崎 行雄
執行役員	瑠璃垣 潔
執行役員	川崎 寛治
執行役員	前田 龍宏
執行役員	池辺 武雄
執行役員	河野 誠司
執行役員	大越 昇
執行役員	村尾 進一
執行役員	松井 剛士
執行役員	上中 正敦
執行役員	河合 利広
執行役員	藤田 浩二
執行役員	篠原 信治
執行役員	金嶋 知二
執行役員	高見澤博之

子会社

(平成27年9月30日現在)

〈物流事業〉

- ロジ・ソリューション(株)
- (株)センコー引越プラザ
- センコーエアラインアマノ(株)
- 東京納品代行(株)
- 札幌センコー運輸(株)
- 東北センコー運輸(株)
- 関東センコー運輸(株)
- 関越センコーロジ(株)
- 埼玉センコー運輸整備(株)
- センコー住宅物流(株)
- 千葉センコー運輸整備(株)
- センコーファッション物流(株)
- 柏センコー運輸(株)
- 野田センコーロジサービス(株)
- 神奈川センコー運輸(株)
- 厚木センコー運輸(株)
- 北陸センコー運輸(株)
- 富士センコー運輸(株)
- 大東センコーアポロ(株)
- 東海センコー運輸(株)
- 豊橋センコー運輸(株)
- 三重センコーロジ(株)
- 滋賀センコー運輸整備(株)
- 大阪センコー運輸(株)
- 東京納品代行西日本(株)
- 南大阪センコー運輸整備(株)
- 阪神センコー運輸(株)
- 江坂運輸(株)
- 阪神運送(株)
- 奈良センコー物流(株)
- 岡山センコー運輸(株)
- 中国ピアノ運送(株)
- 三協貨物(株)
- 山陽センコー運輸(株)
- 中四国ロジスティクス(株)
- 福岡センコー運輸(株)
- (株)ランテック
- 九州センコーロジ(株)
- 南九州センコー(株)
- 宮崎センコー運輸整備(株)
- 宮崎センコーアポロ(株)
- センコープランテック(株)
- センコーメディカルロジスティクス(株)
- デリバリーエース(株)
- (株)プリティポーターズ

- 三協物流荷役(株)
- 三協ロジスティクス(株)
- SENKO(U.S.A.)INC.
- SK MARINE S.A.
- 瀋陽扇拡物流有限公司
- 大連三興物流有限公司
- 青島扇拡物流有限公司
- 扇拡物流(上海)有限公司
- 上海扇拡国際貨運有限公司
- 広州扇拡物流有限公司
- SENKO INTERNATIONAL LOGISTICS(HONG KONG)LIMITED
- Senko(THAILAND)Co.,Ltd.
- SENKO GLOBAL LOGISTICS(Thailand)CO.,LTD.
- Senko International Logistics Pte.Ltd.
- Senko Logistics Australia Pty Ltd
- Senko-Lancaster Silk Road Logistics LLP
- NH-SENKO LOGISTICS CO.,LTD.

〈商事・貿易事業〉

- センコー商事(株)
- アスト(株)
- (株)スマイル
- (株)丸藤
- 富士ラベル(株)
- (株)タカノ機械製作所
- (株)オパタ
- 上海斯美榮貿易有限公司
- 上海斯美榮印刷有限公司
- HONG KONG SMILECORP LTD.
- Japan Select LLP
- KOREA SMILECORP LTD.

〈その他事業〉

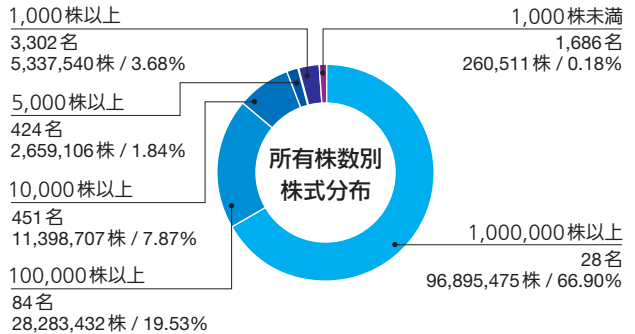
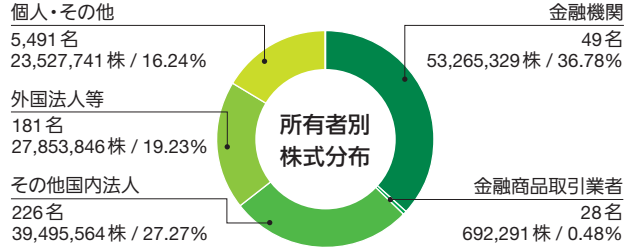
- センコー情報システム(株)
- (株)四国冷凍運輸倉庫
- (株)センコー保険サービス
- センコーフーズ(株)
- (株)クレフィール湖東
- S-TAFF(株)
- センコービジネスサポート(株)
- ロジファクタリング(株)
- (株)センコースクールファーム鳥取
- センコー・アセットマネジメント(株)
- (株)光輝
- センコー・ファシリティーズ(株)
- Senko Logistics(USA),Inc.

(注) ○は連結子会社を示しています。

株式の状況

(平成27年9月30日現在)

発行可能株式総数 294,999,000株
発行済株式総数 144,834,771株
株主総数 5,975名



大株主(上位10位)

(平成27年9月30日現在)

株主名	所有株式数(株)	所有比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	20,140,000	13.91
旭化成株式会社	11,676,726	8.06
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	8,825,000	6.09
NORTHERN TRUST CO. (AVFC)	7,181,540	4.96
積水化学工業株式会社	6,785,900	4.69
センコーグループ従業員持株会	6,557,743	4.53
CMBL S. A. RE MUTUAL FUNDS	4,696,000	3.24
三菱UFJ信託銀行株式会社	4,252,000	2.94
いすゞ自動車株式会社	4,039,689	2.79
東京海上日動火災保険株式会社	3,439,170	2.37

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.senko.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に 公告いたします。)

(ご注意)

1. 株主さまの住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社など)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

センコー創業100年の歴史 ①

来年(平成28年)9月、当社は前身の「富田商会」創業から100周年を迎えます。

センコーの源流「富田商会」

富田商会は、戦前の化学工業のコンツェルン、日本窒素肥料(株)の専属物流会社として、大正5年に創業しました。

富田商会は大阪に本店を置き、日本窒素肥料(株)の工場がある熊本県水俣市の梅戸港に出張所を設けました。主な業務は、日本窒素肥料(株)の発電所や各工場への資材輸送、原料や製品の海上輸送、梅戸港での荷役作業でした。

その後、日本窒素肥料(株)の成長に伴って、富田商会の事業も拡大。昭和16年には日本窒素肥料(株)の子会社となり、日窒運輸(株)と改組しました。これがセンコーのケミカル物流事業の原点です。



水俣出張所が置かれた梅戸港(昭和10年)